

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.486・10月17日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室／株式会社ヤマブラ：近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数：100,000部
●発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5



素敵な人

陶芸家

すぎもと さだみつ
杉本貞光さん
(甲賀市在住・78歳)

「わびさび」を求め続けて半世紀

ちやうじ ろうふうくろちやわん こうえつふうあかちやわん こうらい い どちやわん おりべちやわん うづ(まろ)
「長次郎風黒茶碗」「光悦風赤茶碗」「高麗の井戸茶碗」「織部茶碗」「信楽焼の蹲

——。杉本貞光さんの陶芸展には格調の高い作品がずらりと並び、見る人を圧



黒茶碗

倒する。陶芸作家として間もなく半世紀。一貫して求め続けてきたのは「時も人も超えた、わびさびの世界」。杉本さんの陶芸への姿勢は入賞を求めるためではなく、国宝級の名品すら超えようという志の高いものだ。その背景には、京都・大徳寺の立花大亀老師との出会いがあった。

立花大亀老師との出会い

33歳のとき、杉本さんは信楽の古い壺に魅了され、陶芸の世界に足を踏み入れた。だが、当時は列島改造ブームの真っ最中。建設ラッシュのためビルの内装や外装のレリーフ制作などの仕事に追われていた。

39歳のとき、「面白い坊さんがいる」と知人に紹介され、京都・大徳寺の立花大亀老師を訪ねた。そして老師に言われた。「美術館でたくさんの国宝や重要文化財を見ているだろう？あれをどう思う？」わ

びさび”の思想から生まれた美術品はたくさんあるだろう」

千利休などが活躍した時代の美意識である「わびさび」は、徹底的に無駄を省いた究極の美だ。季節でいえば秋、一日でいえば夕暮れだろうか？

「桃山時代に返りなさい」

老師に言われたこの一言で、目からうろこが



落ちた杉本さん。目指すのは「わびさびの世界」だと決心した。そのときからレリーフ制作をきっぱりやめ、民芸風の作陶や現代陶芸からも手を引いた。「地味で渋く、汚らしいのが『わびさび』ではありません。粋で品がよく、おおらかで柔らかい。これがわびさびです」と杉本さんは言う。

作家活動と決別

立花大亀老師への師事を願い出た杉本さんは、老師から条件を二つ出された。

「作家活動をやめること」

「愚痴と弁解は言わないこと」

作家活動は己の個性を追求するもので、目標は展覧会で賞を取ることに「わびさび」とはかけ離れた世界だ。「確かに審査員はその道に詳しい。しかし、それはたった1人の目に過ぎない。何百年も時代を経て来た名品は、数え切れない人の目にさらされ、時代の変化に耐えて評価されている。つまり、『私の目で選ばれているに近い』。審査員の目よりも私の目、己の個性よりも普遍的な美、それが『わびさびの世界』だ」と老師に教えられたという。

邪念を捨てて

一言でわびさびと言っても「利休の黒茶碗」や「高麗の井戸茶碗」などさまざまな作風があ

る。一体どれを目指せばいいのか杉本さんは迷った。老師の答えは「全部やりなさい」だった。

以来、あらゆる名品を見るように努め、そこから学び、それに迫るよう努力した。むしろ迫る努力というより「超える努力」というべきかも知れない。

苦勞したのは「土探し」。志野

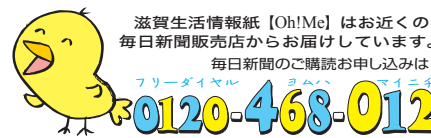
の「もぐさ土」と出会うまでには10年以上かかったという。納得のいく土を探し出し、土に聴く。「上手に作りたい、自分を表現したい」という邪念を捨て、土の持つ個性を引き出すことに全身全霊を注ぐのだという。

「わびさびの美に気が付いても、それが表現できるかどうかは、また別です。私にとっても永遠のテーマです」(取材・越智田)

詳しくは www.gaido.jp/suteki



杉本貞光 ●甲賀市信楽町柞原827-42
<http://www.sugimoto-sadamitsu.jp>



滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みは

フリーダイヤル **0120-468-012**

イチ押し情報BOX

Exhibition of Muneyoshi Yanagi – Eye to the daily life of the people

柳宗悦展

一暮らしへの眼差し

10/12(土) 11/24(日)

民芸運動の創始者にして、優れた思想家でもあった、柳宗悦(やなぎむねよし・通称やなぎそうえつ 1889-1961)が創設した、日本民藝館に収蔵される、興味深い収集品を中心に展示・公開する、大規模な「民芸」の展覧会です。併せて、その思想を継承しつつ展開させ、日本民藝館長も務め、工業デザイナーとしても活躍した、宗悦の子息、柳宗理(やなぎむねみち 通称やなぎそうり 1915-2011)の作品も、展示・公開します。宗悦が、「美術というよりも、むしろ工芸」とよんで高く評価した、滋賀にゆかりの大津絵なども、ご覧頂けます。

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA
滋賀県立近代美術館

TEL.077-543-2111 ホームページ <http://www.shiga-kinbi.jp/>
〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1(文化ゾーン)
開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日／月曜日(ただし10/14と11/4は開館)、10/15と11/5が休館

木喰仏 地蔵菩薩像 日本民藝館蔵

紅型衣裳 日本民藝館蔵

柳宗悦展

一暮らしへの眼差し

抽選で招待券を10組20名様にプレゼント!

●応募方法:はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別を明記の上、ご応募ください。●応募締切:平成25年10月24日(木)(必着)
(応募先)〒520-0806 滋賀県大津市打出浜3-16 1F (株)滋賀毎日広告社「イチ押し情報BOX」プレゼント係

※当選発表は発送をもってかえさせていただきます。
※未就学児入場不可

八代亜紀

ふれあいコンサート

チケット好評発売中

ヒット曲はもちろん、クラシックな一面や、POPな一面など、八代亜紀の魅力満載のコンサート。お客様との「ふれあい」を大切にするコンサートです。

2013年 11/16(土) 昼公演◆14:00開演 大ホール 全席指定
夜公演◆18:00開演 全席指定

チケット料金 S席5,000円/A席4,500円 さくら友の会 各1割引き
※未就学児入場不可 Pコード:202-011 Lコード:56602

チケット取扱い 全平ロビロ Pコード:56602

オカリナ7重奏団GOB-GOB-

オカリナ発祥の地 イタリア「ブードリオ」から国宝級のハーモニー

2014年 2/1(土) 14:00開演 中ホール 全席自由

チケット発売 10月20日(日) 10:00～

チケット料金 一般3,500円 さくら友の会 各1割引き
※未就学児入場不可

チケット取扱い 全平ロビロ Lコード:58723

栗東芸術文化会館さくら **SAKIRA**

栗東芸術文化会館さくら

〒520-3031 滋賀県栗東市(へそ)2-1-28
Tel.077-551-1455 Fax 077-551-2272

さくら友の会(年会費2,000円)随時募集中! (月曜休館・祝日の場合開館) さくら友の会(年会費2,000円)随時募集中!
〈アクセス〉【電車】JR栗東駅より徒歩5分 【車】栗東ICより約3km(有料駐車場あり)